

産業・組織心理学会第31回全国大会

明治大学 2015年8月29日・30日

■ 1日目 (8月29日)

会場	A会場 (リハビリタワ- 7F 1073 教室)	B会場 (リハビリタワ- 7F 1074 教室)	C会場 (リハビリタワ- 7F 1076 教室)	D会場 (リハビリタワ- 7F 1064 教室)	E会場 (リハビリタワ- 7F 1065 教室)
座長	鄭 有希	高橋 潔	芳賀 繁	山口 善昭	柳澤 さおり
10:00-10:30	○塩谷亨・池崎好香 「CEAPSのWeb版と紙筆版の心理統計的等価性—Web試作版からWeb版への改訂に伴う検討—」(P.37)	○内田恵里子・松尾太加志 「OJT学習モデルを活用した完成期段階の教育訓練プログラムの検討」(P.53)	○廣川佳子・宮崎弦太・芳賀繁 「経営理念浸透尺度作成の試み—尺度の信頼性と妥当性の検討—」(P.69)	○有吉美恵・山口裕幸 「ルーティンワーク従事者のワークモチベーション研究—職務意義の認知という視点からの考察—」(P.85)	○松山真太郎・志村光太郎・宇佐美尋子・牛尾奈緒美 「女性管理職の心理的ストレス・プロセスの検討—男性管理職との比較検討より—」(P.101)
10:30-11:00	○池崎好香・塩谷亨 「年齢層による職場のストレス反応パターンの性差—某自治体全職員のCEAPSのデータを用いて—」(P.41)	○楠見孝 「組織と個人のアンラーニングに及ぼす組織風土と批判的思考態度の影響」(P.57)	○小山健太 「組織コミットメントの構成概念の再検討—日本企業で働く外国人若手社員を対象に—」(P.73)	○峯村隆久 「企業での自律的人財づくりから導き出した新たな欲求理論」(P.89)	○中野裕美子 「女子大学生の職業継続意識の変化—2013~2015年」(P.105)
11:00-11:30	○吉澤康代・竹内雅彦 「キャリア研修効果「将来への不安」「将来への展望」の再考：A社における縦断的調査からの検証」(P.45)	○斉藤真一郎・岡田昌毅 「コーチングにおけるクライアントの期待要因について」(P.61)	○外島裕 「思考過程分析尺度(TPI-CON)のrank-order stabilityについて—東大版総合人格目録(TPI)の項目に基づいた尺度構成—」(P.77)	○三好きよみ・川崎知己・南裕子 「社会人大学院志向者の価値観の特徴」(P.93)	○新井範子・細萱伸子 「夫の育児参加に関する影響要因の構造」(P.109)
11:30-12:00	○川崎昌 「キャリア支援施策が従業員の挑戦意欲に与える影響」(P.49)	○原恵子・前田具美・岡田昌毅 「キャリア支援職者のためのキャリア形成プログラム—大学内プロジェクトでのプログラム作成と試行的取り組み—」(P.65)	○大嶋玲美・宮崎弦太・芳賀繁 「組織成員の主要5因子性格が組織市民行動に及ぼす影響における政治スキルの媒介効果」(P.81)	○武田圭太 「地方都市の小零細企業による新規学卒者の採用と育成」(P.97)	○小川悦史 「人的資源管理・リーダーシップ・内発的報酬及び行動の関係—非正規従業員を対象に—」(P.111)

<p>12:00- 13:00</p>	<p>昼休み：会員控室（リバティタワー6階，1063教室） 理事会：研究棟4階，第2会議室 同時開催：J.Shapiro先生（UCLA）との懇談会（リバティタワー7階，1071教室，軽食をご用意しております）</p>
<p>13:10- 14:40</p>	<p>シンポジウム I（リバティタワー1階，リバティホール・1013教室） テーマ：「高信頼性組織の業界分析」(P.31) 発表者：中西晶（明治大学），藤川なつこ（神戸大学），吉野直人（松山大学）， 星和樹（愛知産業大学），三沢良（奈良大学） 司会：星和樹（愛知産業大学）</p>
<p>14:50- 15:00</p>	<p>開会あいさつ（リバティタワー1階，リバティホール・1013教室） 会長 金井篤子（名古屋大学）</p>
<p>15:00- 16:30</p>	<p>特別講演（日本語通訳あり，リバティタワー1階，リバティホール・1013教室） テーマ：「From Stereotype Threat to Stereotype Threats: Implications for theory and intervention」(P.13) 基調講演者：Jenessa Shapiro（John. E. Anderson School of Management, UCLA） 司会：高橋正泰（明治大学），高木俊雄（沖縄大学）</p>
<p>17:00- 18:00</p>	<p>会員総会（リバティタワー1階，リバティホール・1013教室）</p>
<p>18:20- 20:20</p>	<p>懇親会（岸本辰雄記念ホール，リバティタワー23階）</p>

■ 2日目(8月30日)

会場	A会場 (リバティタワー 7F 1073 教室)	B会場 (リバティタワー 7F 1074 教室)	C会場 (リバティタワー 7F 1076 教室)	D会場 (リバティタワー 7F 1064 教室)	E会場 (リバティタワー 7F 1065 教室)
座長	大平 義隆	細田 聡	杉谷 陽子	関口 和代	久保 真人
11:00- 11:30	○古川久敬・池田浩 「創造的アイデアの履行における抑制および促進要因の分析—創造革新性パラドックスの克服に向けて—」(P.115)	○今城志保・佐藤裕子・宮澤俊彦 「集合研修の転移に関する実証研究1—マネジメントの基礎研修を用いた検討—」(P.127)	○池田章人・林恭子・若林忠弘・松岡綾子 「職場におけるトラウマ体験の克服メカニズムについて—獲得的レジリエンスの強化の可能性を探る—」(P.139)	○大関和美 「脊髄・頸髄損傷者の受障後のキャリア・プロセス—ターニングポイントを中心とした追跡調査を通して—」(P.151)	○安田崇子 「メンタルヘルス要因の相互・影響作用の変容プロセス」(P.163)
11:30- 12:00	○松本友一郎 「社会的自己制御及び組織風土が本音の抑制に及ぼす影響」(P.119)	○佐藤裕子・今城志保・宮澤俊彦 「集合研修の転移に関する実証研究2—研修での学びと実践目標の質的分析—」(P.131)	○道谷里英 「職場における相談機能のあり方に関する探索的検討」(P.143)	○尾野裕美 「若年就業者におけるキャリア焦燥感の緩和要因」(P.155)	○佐藤隆・竹内秀太郎・良田智雄・池内陽子・浦本真喜子・饒波圭祐・茂田晃信 「ストレスチェック義務化に向けて企業の「メンタルヘルス対策」に関する調査研究—職業性ストレス簡易調査の結果から—」(P.167)
12:00- 12:30	○池田浩・森永雄太 「縦断的調査に基づく多側面ワークモチベーション尺度の再検査信頼性と妥当性の検討」(P.123)	○伊藤朝陽 「産業・組織内研修における知識移転メカニズムに関する研究」(P.135)	○櫻木晃裕 「被災地住民の心の復興—支援者の視点からのアプローチ—」(P.147)	○深田仁美 「自治体職員の昇任に関する意識の探索的検討」(P.159)	○田中真理子・堀博美 「パーソナリティからの職場ストレス要因予測—高ストレス環境と周囲からのサポートがストレス反応・職務パフォーマンスに及ぼす影響—」(P.171)
12:30- 14:00	<p>昼休み：会員控室(リバティタワー6階, 1063 教室)</p> <p>常任理事会：研究棟 4 階, 第 2 会議室</p>				

教室	A 会場 (リハビリタワー 7F 1073 教室)	B 会場 (リハビリタワー 7F 1074 教室)	C 会場 (リハビリタワー 7F 1076 教室)	D 会場 (リハビリタワー 7F 1064 教室)	E 会場 (リハビリタワー 7F 1065 教室)
座長	南 隆男	花田 光世	杉本 徹雄	坂田 桐子	司会：申紅仙
14:00- 14:30	○竹内規彦・竹内倫和・鄭有希 「新卒採用者の組織サポート はなぜ入社初期の適応を高め るのか：キャリアマッチの観点 から」(P.175)	○藤原勇 「上司が部下から信頼されてい ると思うとき」(P.187)	○戎夢婷 「中国大学生の日本製品に対 する購買意向に影響を及ぼす 心理的要因の検討—面子意識 に注目して」(P.199)	○山口生史 「高齢者の介護施設におけるリ ーダーのコミュニケーションと 職員が認識するケアの質との関 係：マルチレベル分析」(P.211)	若手研究者支援企画 「投稿論文リジェクトを避け るために出来ること」(P.35) 話題提供者 永野光朗 山浦一保 申紅仙 指定討論者 久保真人 企画・司会 申紅仙
14:30- 15:00	○藤澤理恵・高尾義明 「育児休業からの復職場面に おける組織再社会化過程の経 時的研究—変革的役割志向に 着目して—」(P.179)	○繁樹江里・林直保子 「上司のネガティブ・フィードバ ックに対する部下の心の声と実 際の声 - 送り手の提供方法、およ び、受け手の動機づけによる違い -」(P.191)	○上野由紀 「対象年齢が異なる女性誌に おける仕事及びライフスタイ ルの表現の差に関する研究」 (P.203)	○中村誠司・水上勝義 「介護職の労働価値観やワー ク・エンゲイジメントに関する検 討」(P.215)	
15:00- 15:30	○本多ハワード素子 「新人看護師の社会化とレジ リエンス」(P.183)	○榊原圭子 「メンターからの支援とメンテ ィの職務満足感の関連性」 (P.195)	○杉谷陽子 「SNS を用いた食品リスク・ コミュニケーションの研究：知 識量とリスクへの態度による セグメンテーションの可能性」 (P.207)	○中野浩一 「ジョブクラフティング研究レ ビュー—縮小的ジョブクラフテ ィングという理論的発展可能性 —」(P.219)	